



えん がく じ
圓覚寺

(臨濟宗)

ずいろくさんだいえんがくこうしょうぜんじ
瑞鹿山大円覚興聖禅寺

わが国はおよそ七百年前、文永・弘安の二度にわたる蒙古軍の来襲という空前の国難を迎えた。時の執権北条時宗公はかねてより深く禅に帰依し、弘安の役のさなかにも、中国から招いた無学祖元(仏光国師)を師として、日夜参禅に励んでいた。

国を挙げてこの難敵に当り、蒙古の大軍を撃退した時宗は、文永・弘安両役に殉じた彼此両軍死者の菩提を弔い、己の精神的支柱となった禅道を弘めたいと願い、且つその師仏光国師への報恩の念か

ら円覚寺の建立を発願した。「円覚」の寺号は
寺地選定の後、この地から石櫃に入った円覚
経を掘り出したことによるといわれている。

開山の法灯は高峰顕日（那須雲巖寺）、夢窓

疎石（大龍寺）と次第し、世に「仏光派」と称され
た。殊に夢窓は南北朝「七朝の帝師」といわれ、
その門流は室町時代にわが国禅界の中心的勢力
を形成した。

数度の大火に遭い、衰微したこともあったが、
江戸末期に中興の誠拙和尚が出て、伽藍を復興
し、現今の円覚寺の基礎を固め、修行者に対し
て峻厳をもってし、宗風の刷新を図った。

明治には今北洪川・釈宗演の師弟のもとに雲
衲や居士が参禅し、関東禅界の中心となった。

居士林における坐禅会は古い歴史を誇り、秀
れた人材を打ち出した。

首都圏各地からの交通の便に恵まれ、静かな
境致と相まって、各種の坐禅会・夏期講座など
多くの人々に親しまれ、「心の寺・円覚寺」と
呼ばれ、訪れる人々に深い心の安らぎを与えて
いる。

山内に十八ヶ寺の塔頭（支院）があり、近末に
は浄智寺・東慶寺・瑞泉寺・大慶寺がある。



境内案内

山門

天明三年（一七八三年）当山中興の大用国師
誠拙和尚が再建。楼上に観世音菩薩・羅漢
が安置されている。「円覚興聖禅寺」の額は
伏見上皇の勅筆。

仏殿

本尊は宝冠釈迦如来。昭和三十九年に再建
された。天井に前田青郭監修、守屋多々志
揮毫の白龍の図がある。大光明宝殿。

選仏場

仏を選び出す堂宇のことで、元の坐禅道場。
一六九九年に建立。

居士林

禅を志す在家のための坐禅道場、もと牛込
にあった柳生流の剣道場を、昭和三年柳生
徹心居士より寄進され移築した。

方丈

「方丈」の名は、インドの維摩居士の居室が
一丈四方であったことに由来する。本来は
住職の居間であるが、多くの宗教行事がこ
こで行われる。

百観音

江戸時代、拙叟尊者が百体の観音石像を奉
安し、洪川老師の明治時代に整備され、震
災後も一山をあげて復興につとめた。元は

塔頭松嶺院の地内にあったが、後に方丈の庭園
に移された。

舍利殿 (国宝)

源実朝が宋の能仁寺から請来した仏牙舍利を奉
安する堂宇。鎌倉時代に中国から伝えられた
「唐（から）様式」を代表し、その最も美しい建造
物として国宝に指定されている。

開基廟

開基北条時宗のみたまや。堂内に時宗・貞時・
高時の尊像が安置されている。

白鹿洞

当山の落慶開堂の日、開山国師の法筵に列する
ために、この洞中より一群の白鹿が現れたとい
う。この奇瑞によつて当寺の山号を「瑞鹿山」と
いう。

黄梅院

時宗夫人の寛山尼が時宗の菩提のために建立し
た華嚴塔の地に、後に足利氏が夢窓国師の塔所
として建立した。室町時代に寺盛を極め、古文
書なども多い。

洪鐘 (国宝)

一三〇一年北条貞時が国家の安泰を祈つて寄進。
鎌倉時代の代表的な梵鐘である。

主な年中行事

大般若祈祷会	元日より三日間	方丈
臨濟禅師每歳忌	一月十日	仏殿
百丈禅師每歳忌	一月十七日	仏殿
涅槃会	二月十五日	仏殿
時宗公每歳忌	四月四日	仏日庵
降誕会(花まつり)	四月八日	仏殿
観音懺法	六月十八日	山門
夏期講座	七月下旬四日間	方丈
山門施餓鬼会	八月十六日	方丈
開山国師每歳忌	十月三日	舍利殿
達磨大師每歳忌	十月五日	仏殿
羅漢・舍利講式	十月十四・十五日	方丈
宝物風入	十一月三日頃三日間	方丈
弁財天諷経	十一月二十八日	弁天堂
成道会	十二月十五日	仏殿
除夜念誦	十二月三十一日	弁天堂

坐禅会案内

○暁天坐禅会 (於仏殿)

毎朝 (年始・十月初旬に休会有り、要確認)

夏期 (四月～十月) 五時半より六時半

冬期 (十一月～三月) 六時より七時

○日曜説教会 (於方丈)

毎月第二・第四日曜日、午前九時より法話

引き続き十一時まで坐禅

○土曜坐禅会 (於居士林)

毎週土曜日 (八月中は休会)

初めての方 午後二時二十分～二時四十分

二回目以降 午後二時四十分～三時四十分

(十五分前に集まること)

◇詳細は宗務本所へ電話にてお問い合わせ頂くか、
公式ホームページをご覧ください。

電話〇四六七(二)〇〇四七八

WWW.engakuji.or.jp



開基廟のしおり

圓覚寺大檀那である北条時宗・貞時・高時をお祀りしてあります廟所とは
 石碑を建てその上にお木像を祀るお堂を建てたものが正式のお墓で国に特
 に業績のあった人へののみ許されたものです。時宗公は1284年4月4日に亡
 くなられています。つまりは圓覚寺が建立されてから二年後のことです。時宗
 公が亡くなられた後に開基廟が建立されたようですが、現在の開基廟は江
 戸時代1811年に改築されたものとされています。新編相模風土記によれば
 お堂の下に各遺骨を納めた石櫃
 があるとの伝えがしるされてい
 ます。また、幾度の困難な戦火を
 くぐり抜け、ずば抜けた才能で
 幕府をまとめあげていたことから
 学問の神、開運の神と崇めら
 れていました。



圓覚寺 塔頭 佛日庵

“KAIKI BYOU” (BYOU means mausoleum)

In this mausoleum, three high ranking people of KAMAKURA period have been enshrined. Only those who had great achievements were allowed to be enshrined. One of the three influential people, Tokimune, died in 1284, two years after this temple was built. The mausoleum, which was constructed after Tokimune's death, was rebuilt in 1811(Edo period). According to a famous history book, some stone coffins are placed under the main hall. Outstandingly talented, Tokimune overcame many difficulties in wartime and succeeded in stabilizing the feudal government. So, Tokimune is still worshiped as god of study or god of fortune and attracts many tourists.

匙

匙さじと言うものは一日何回いちにちなんかいとなく汁しるの中につけられるが匙さじには汁しるの味あじがわからない。

しかし舌したに汁しるの一滴いってきをたらせば一度いちどで味あじがわかる。どんな立派りっぱなな人ひとに接せつしても、立派りっぱなな書物しょもつを読よんでも、匙さじの様に無感むかんかく覚かくではいつまでたつても何もわからない。たとえ万巻ばんかんの書物しょもつを読よみ高等教育こうとうきょういくを受けても、学問がくもんが身みにつかないのでは何なににもならない。他人たにんを苦くるしめて自己じこの安楽あんらくを望のぞむ者は怨うらみのきずなに縛しばられて怨うらみよりのがれる事ことは出来ない。この様な人間ようにならぬ為にんげん、今年ことしも日日にち悔くいなく過すごし小ちひさくても一日いちにち一善いちぜん必かならずする様ように心こころがけましょう。

Spoon

Although the spoon is soaked in soup many times a day, it itself cannot understand the taste of the soup. But, unlike the spoon, just one drop of soup on your tongue can give you complete idea of how it tastes. What this means is that it gives you no meanings to meet the most honorable men or to read the most excellent books as long as you are insensitive like a spoon. It is completely worthless to read many books or to receive high education if you're too insensitive to learn wisdom from what you've experienced. Those who try to get a sense of peace by giving pains to others will never be able to cut himself off from a chain of grudge against him. We should not be insensitive of like this person. Wishing for this year to be better than last year, let's keep in mind that we do something good every day no matter how small it is.

佛日庵は、鎌倉観音霊場第三十三番、鎌倉地藏霊場十四番です。

"Butsunichian is 33rd Kamakura Kannon hallowed ground, Kamakura guardian deity of children hallowed ground 14th"

人
己
心
腹
氣
口
命

心とはおぼたむへく
おのれはむいしく
こころはまるく
はらたせず
きはなかく
くちつしめは
いのちがうれ